

# 選挙を 見つめて

19あおもり

## 知事選を終えて①

そうなるだろうとは思っていた。それよりも投票率が40・08%だったことが残念だった。これでは、三村さんもみんなから村県政への批判が強いというこ

うせ三村さんが当選するんだろ うという気持ちから投票に行かない人がいたのではないかと三村県政への批判が強いというこ

ほかの意見を聞かなくなってしまうように思う。三村さんはそういうことがないよう、反対の意見も受け止める知事であってほしい」と語る。

三村氏に今後力を入れてほしいことについては「県職員と共に、いろいろなアイデアを出して短命県返上に取り組んでほしい」と中村さん。中川さんは若い人たちが戻ってきたいと思える政策を進めてほしい」と強調する。



根本ひかるさん(19) 八戸・八戸学院大2年

### 子育て環境充実を



選ばれたという感じではないから『えっ』と思ったのでは」と話す。「投票率が低かったのは、ど

とではないと思う」と七戸町の運送会社社長、中村健さん(65)。八戸学院大学2年の根本ひかるさん(19)「八戸市は『棄権し

た人が多いのは残念。友人たちと選挙のことが話題になることはほとんどなかったもので、若い人がもっと選挙に関心を持つような呼び掛けをしてほしい」と語る。

一方、中川さんは「一般的に、長く務めるのは賛成ではない。県を任せられるという安心感がある」と話す。

根本さんは「子どもたちの教育や、子育て環境の充実に力を入れてほしい。人口減少など、青森県が抱えるさまざまな問題を先送りせず、きちんと向き合って解決してほしい」と話した。

2日投開票の知事選は、無所属で現職の三村申吾氏(63)が無所属新人の歯科医師佐原若子氏(65)を退け、県政史上初の5選を果たした。今回の連載で取材している6人に、選挙の結果や多選についての考えを聞いた。

(本紙取材班) むつ市でパン店を経営する中川礼子さん(59)は「当落結果は、